

団体名 <b>糸満市立潮平中学校</b>	連絡先 TEL : 098-992-7575 Eメール : <a href="mailto:siocyu@shiohirac.city.itoman.okinawa.jp">siocyu@shiohirac.city.itoman.okinawa.jp</a>
-------------------------	---

## 1 実践事項 ( ② )

タイトル：「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業の構築

## 2 実践内容

本校では、授業改善を通して生徒の自己肯定感を高めることを目指している。生徒質問紙（１）「あなたにはよいところはありますか」、（２）「先生はあなたのよいところを認めてくれますか」の項目を評価基準とし、全職員体制で授業改善に取り組む。以下本校の取組内容である。

### (1) 質的授業改善を日常化する取組

#### ①校内研修・学力向上推進の取組を意識した授業改善

- ・代表者授業（特定の授業において、全職員で授業改善に取り組んだ。）今年度
- ・一人一授業三参観の実施
- ・「聴く力」の育成を目指す。潮中独自のルーブリックを作成して、全職員・全校生徒へ周知し、目指す生徒像の共有を図った。

#### ②県教育施策・全国学力学習状況調査を踏まえた授業改善

- ・学校改善ルーブリックやフォーカスシート、生徒質問紙を活用した学校課題の共通理解及び改善に向けた共通実践
- ・PPⅡや問いサポ、魅力ある学校づくりパンフレットの活用
- ・学びに向かう集団作りのための取組（S S T）の活用

#### ③ICTを活用した授業改善及び生徒の自治的活動

### (2) ICTを活用した自学自習力育成の取組

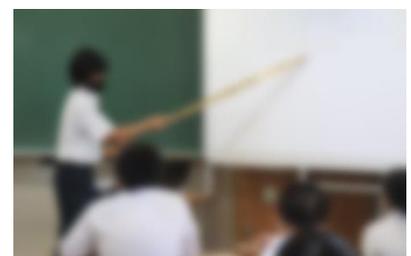
- ・生徒の学びの足跡（学習ログ）を付ける

## 3 説明資料

### (1) ①学力向上推進の取組・校内研修を意識した授業改善

「自己肯定感」を高めるため、学力向上推進と校内研修を関連させた実践に取り組んだ。他者の意見を肯定的に聴く姿勢を日々の授業において育成している。

「聴く力」を育成しよう！！	
STEP5	聴いたことで自分の考えを深めることができる
STEP4	聴いたことについて質問ができる
STEP3	聴いたことの要点を理解できる
STEP2	肯定的に話を聴くことができる。
STEP1	耳・目・体で聴くことができる



【潮中ルーブリックの作成】

【交流の場の設定①】

【考えたことを共有】

年度初めに「潮中ルーブリック」を全教科で生徒へ周知し、目指す生徒像の共有を行った。日々の授業で継続的に「聴く力」を育成に全職員で取り組むことができた。ペア・グループ活動時においてもお互いの意見を肯定的に聴くことができるよう取り組むことができた。



【代表授業】



【全職員で行った授業研究会】



【管理職助言】

代表授業を実施し、全職員で授業研究会を行った。一つの授業について全職員で考え、代案検討を行うことで、職員間で学び合う雰囲気醸成を図ることができた。一人一授業後の授業研究会においても、互いの授業について意見共有を行い、授業改善に全職員体制で取り組むことができた。



【SCによる SST 授業】



【SST 授業様子】



【SST 授業様子 協働】

スクールカウンセラー（SC）による SST 授業を通じた人間関係づくりを全学年・全学級で実施し、学びに向かう集団作りに取り組んだ。全学級1回を基本とし、中学1年生は2回実施を行った。活動の様子を見取りながら生徒理解や生徒へのフィードバックへと繋げることができた。

(1) ②県施策・全国学力学習状況調査を踏まえた授業改善  
学校課題の焦点化、共通理解、共通実践。

様式 2		令和 5 年度版 学力向上推進フォーカスシート				学校名	潮平中学校
		～学力向上マネジメントを機能させるために～				校長名	宣保博哉
本校で育成する資質・能力		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のめあてを持ち、自ら意欲的に学習する力（自立心、主体性、思考力、表現力など）</li> <li>○ 相手の気持ちや立場を思いやる心（感謝、思いやり、助け合い、奉仕の精神など）</li> <li>○ 進んで身体を鍛え、自分で健康管理ができる力（健康、体力、忍耐力など）</li> </ul>					
校内研究テーマ		「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善の構築 ～生徒の学びの姿を「見取る力」の向上を目指して～					
自校の課題		重点方策	診断重点項目	評価方法／結果	改善策		
【重点課題】 自己肯定感の高まりに改善がみられるが、さらなる向上を目指す。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○本校一斉徹底「聴く態度を身につける」を意識した授業づくりを日常化する</li> <li>○潮平中「聴く態度を育成する」ためのルーブリックを活用した共通理解、共通実践を日常化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒質問紙1「自分にはよいところがあると思いますか」</li> <li>2「先生はあなたのよい所を認めてくれますか」</li> <li>○学校評価：「聴く力を身につける」を意識し授業改善を行ったか。</li> </ul>	沖縄県児童生徒質問紙調査 質問(1)(2) 学校評価（職員）  評価 0	0		

【フォーカスシート】

学校課題を焦点化、共通理解したことで、職員間で協力して同じ目標に向かうことができた。生徒質問紙の結果から、自己肯定感の改善が見られるため、

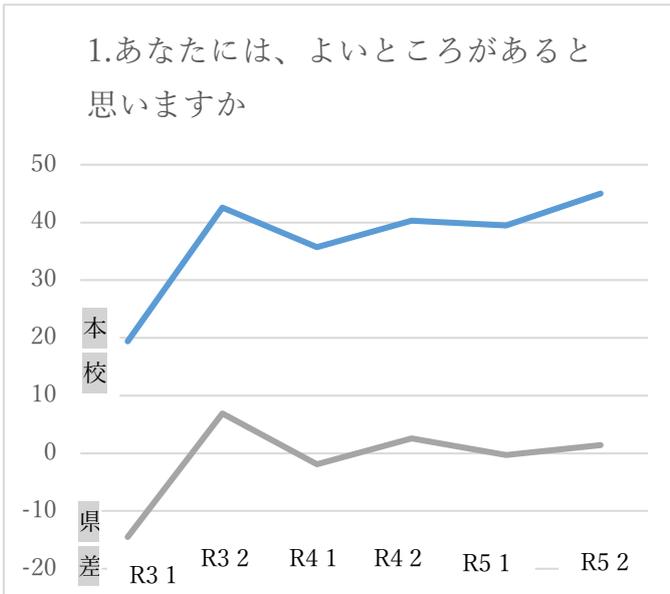


【各月における授業改善の取組】

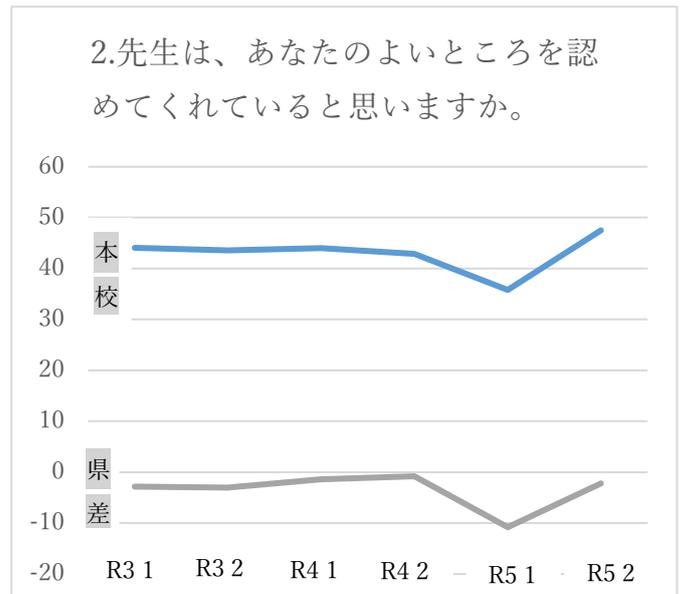
「問いサポ」を活用した授業における基本事項から授業改善の視点（ポイント）を各月で設定した。そのことにより、「問いサポ」を参考にしながら授業改善に取り組むことができた。職員評価アンケートより県教育施策を意識して授業改善に取り組んだと肯定的に回答する職員の割合が増えた。（6月 79%、12月 94.7%）

【中学3年生の生徒質問紙結果 経年比較】

県生徒質問紙において「あてはまる」と回答する生徒の割合が増えている。



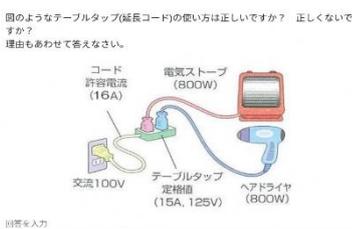
【生徒質問紙回答結果①】



【生徒質問紙回答結果②】

(1) ③ ICTを活用した授業改善

授業において ICT を積極的に活用している。



【技術科 フォームズ活用】



【英語科 ドキュメント活用】



【英語科 サイト活用】



【理科 ロイロノート活用】



【総合 スライド活用】

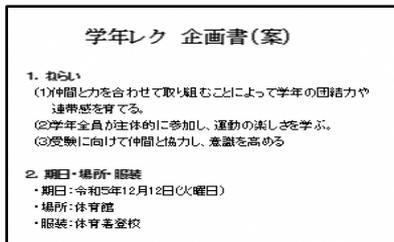
財政と国民の福祉



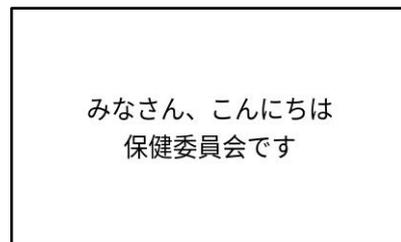
【総合 スライド活用】



【生徒会活動 クラスルーム活用】



【生徒会活動 協働編集】



【委員会活動 動画作成】

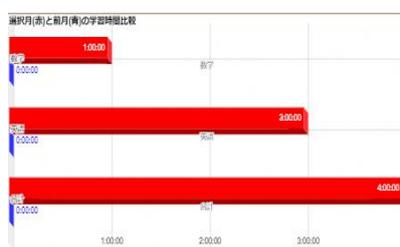
授業で積極的な活用ができた。ICT を活用した授業改善が進んでいる。授業で活用したことを基に、生徒会活動で企画書作成に使用するなど自治的な活動へと繋げることができた。

## (2) ICTを活用した自学自習力育成の取組

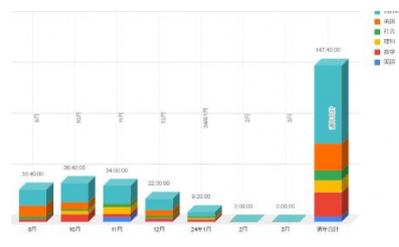
・生徒の学びの足跡 (学習ログ) を付ける

対象月	教科種類	当月累計	前月累計
2023年	数学	1:00:00	0:00:00
4月	英語	3:00:00	0:00:00
開始日			
2023-04-01			
終了日			
2023-04-30			
合計		4:00:00	0:00:00

【当月・前月累計】



【月別・教科別】



【月別・年間累計】

## 4 成果

- 代表授業・一人一授業三参観を通して、職員間で協力して授業改善に取り組む雰囲気醸成できている。職員評価アンケート結果より、県施策（問いサポ・PPⅡ）に基づいた授業改善の取組を行ったと回答する職員の割合が増えた（6月 79%、12月 94.7%）。県教育施策を意識した授業改善が進んでいる。
- 生徒質問紙（1）「あなたにはよいところがあると思いますか」の項目で、あてはまると答えた生徒の割合が、第1回目 35.4%、第2回目 39.0%と+3.6%の改善が見られた。（2）「先生はあなたのよい所を認めてくれますか」の項目で、あてはまると答えた生徒の割合が、第1回目 39.3%、第2回目 41.1%と+1.8%の改善が見られた。授業改善が進み、授業における承認場面が増えてきたからだと考えられる。

## 5 課題

- 生徒質問紙、職員アンケート結果より、自学自習に課題が見られる。また、ICT を活用し学習ログを付ける活動においても、職員及び生徒へ周知不足であった。今後は、生徒の学びの足跡（学習ログ）を付ける活動の普及に努めることで自学自習力育成につなげていきたい。
- 全国学力学習状況調査の結果より、「自分の意見や考え」を表現することに課題があることがわかった。考える場面や交流場面の設定を通して、日常の授業で生徒が自分の「意見や考え」をアウトプットすることで、さらに授業改善を進めていきたい。そのため、県プランシートを潮平中独自で調整しながら、授業公開時には「意見や考え」をアウトプットする場面を設定した授業を推進していきたい。